

2007年5月31日

大分市長 釘 宮 馨 殿

日本共産党大分市議団

団長 大 久 保 八 大

ごみ 12 分別収集の改善を求める申し入れ

4月からごみ 12 分別が始まり、「分別の仕かが分からない」などの問い合わせが担当課に相次ぎ、4月は、1日 200 件にも達したと聞き及んでいます。資源循環型社会の構築のための分別拡大は環境行政の喫緊の課題であり、12 分別は大分市にとっての一大事業です。市民のみなさんのご協力がなければ到底できません。分別を始めた市民からは「プラスチック包装がこんなに多いとは思わなかった。収集回数を増やして欲しい」「ややこしいし、容器をすすぐのが大変!」「年寄りにはむつかしすぎる」という声や「ゴミ置き場を見ると全然分別できていないゴミも多い」という様々な意見が私ども議員団にも寄せられています。市民のみなさんの声に耳を傾け、早急な改善が必要だと考え、以下の通り申し入れをいたします。

記

- 1 容器包装リサイクル法には、循環型社会構築のために必要不可欠である、生産段階から廃棄、資源化まで、資源の管理に直接事業者には責任を持たせる制度、拡大生産者責任が明確に盛り込まれていません。国に対して要求すること。
- 2 啓発が遅れているために 12 分別の理解が市民に浸透していません。積極的に説明会を開いていくこと。
- 3 分別が困難な高齢者などに対する支援策を実施すること。
- 4 プラスチック容器の収集回数を増やすこと。
- 5 事業所に対しての啓発を事業系ごみの収集業者まかせでは、行政の説明責任が問われます。事業所に対しても、市が責任を持って、説明会を開いていくこと。